



2024~2025 年度
大船渡西ロータリークラブ会報
七福人



会 長 山口 徹
副会長 今野 義也
幹 事 谷地 保

= 会長指針 =
笑顔でロータリー

．．． 例 会 記 録 ．．．

8月第1回例会 2024年8月1日(木)

ソング : 君が代・4つのテスト ボックス : 21,000円 (報告者 志田成樹会員)
本日出席率 : 本日出席率 68.75% 前回修正後 93.33% (メークアップ 8名) (報告者 新沼達央会員)



入会式

佐藤裕貴君 (株)高速 大船渡営業所所長

ご入会ありがとうございます。

★ 会長の時間 : 山口 徹 会長



まずは佐藤会員、西ロータリークラブに入会おめでとうございます。

佐藤会員は盛町の本町の方で私と同じ部落です。しかも子供同士が同級生と昔からの知り合いです。中学までは野球部だったそうです。野球大会よろしくお願ひします。

今回の会長の時間は報告も兼ねます。7月28日(日)夕方、気仙沼南ロータリークラブ主催の納涼サンセットクルーズにかみさんと二人で参加してきました。

天気はあいにくの曇りでしたが、気仙沼南・気仙沼・千厩・陸前高田・大船渡・大船渡西ロータリークラブから家族も含めて約80名の参加で和気あいあいと楽しむことができました。大島汽船のファンタジー号という船で気仙沼大島大橋ができるまでは大島まで運行していた船だそうです。乗船の際ゼンイレブン(気仙沼南の小野寺会長のお店らしい)の弁当、豆腐、つまみ、それとカモメ用の「かっぱえびせん」が渡されカモメをいっぱい引き連れての出航です。コースは気仙沼湾横断大橋をくぐり、気仙沼大島大橋を過ぎてUターンして約1時間半のクルーズでした。例会セレモニーでお客様紹介があるわけですが他クラブは複数人参加でしたので、当クラブは私だけで少し恥ずかしくもあり来年は大勢で参加しますと言っていました。例会で気になったのが、RI会長のテーマを復唱したこと、会長のたすき漢字だったこと、お客様として気仙沼ライオンズクラブ、気仙沼倫理法人会の方が参加されていて多様性を感じました。懇親会の方はロータリアンをはじめ小さい子供、奥さんも参加しとても雰囲気の良い家族例会という感じでした。当クラブも家族がたくさん来てくれる家族例会をしたいと思います。意外だったのが今泉ガバナー補佐はお酒が入ると明るくいっぱいお話をされることです。またRLI研修で一緒だった藤村(次期会長)さん、高橋さんともお会いでき親睦を深めました。同じ管内のロータリアンと色々とお話できた事、なかなか経験できない気仙沼湾クルーズを楽しめた事、ロータリーのマジックを体感してきました。来年は大勢で参加しましょう。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ❖ 会員増強アンケートのお願いが届いています。 締め切 8月19日
- ❖ ポリオプラス・ソサエティへの参加のお願い
ポリオ根絶の為毎年100ドル寄付頂く事をお約束頂ける会員の募集
締め切9月末日
- ❖ ロータリーディ清掃活動のお願いが届いています。
日時 10月6日(日) 前後しても構わない
内容 会員以外の方と地域の清掃活動
活動内容を報告締め切 10月21日

2 大船渡市 ILC 推進協議会より 総会と ILC 講演会の案内が届いています。

日時 8月26日(月)

総会 午後2時～ 於 大船渡市民文化会館会議室1・2

講演会 午後3時～4時 於 大船渡市民文化会館マルチスペース

演題 ILC 計画の最新動向と実現に向け求められること

講師 岩手県副知事 佐々木 淳氏

締め切 8月5日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

会員増強アワー：菅野嘉洋会員増強委員



7/26(金) 18:00～ ユキ・グランパに於いて第1回会員増強委員会会議を開催、会長 副会長 会員増強委員4名(水野さん、齋藤さん、谷地さん、菅野)計6名で今年度の方針等を打ち合わせしました。

現状、会員数の減少が顕著 2018-2019年度計画書会員数 53名 2024-2025年度計画書会員数 28名 会員数の減少がクラブ会計にも大きく影響。運営にも支障をきたしている。(例会開催日数減など)

会員数の増加は喫緊の課題

今年度の方針 ※目標としては今年度10名増(現在5名既入会)

・委員会としての活動 (個人の活動を制限するものではない)

今までは個人による推薦が主であったが、それに加え会員増強委員会として組織としての活動も行っていきたい。(個人による推薦は引き続きお願いしたい。)

候補者のリストを作成し、そのリストの中から正会員として推薦したい候補者を選定。

勧誘の担当者を委員会の中から選定し勧誘にあたる、というようなイメージ。

これをシステム化したい。

細部はこれから煮詰める必要はあると思うが、会員数の増加を目指していくにあたり、委員会としても実効性が得られるような取り組みを進めていきたいと考えている。

・候補者リストの作成

会員のみなさんの協力が必須。

口頭で委員会の誰かに報告していただくことでももちろん構わないが、候補者報告の様式を作成しみなさんに配布することを考えているので是非協力をお願いしたい。

候補者については、そんなに詳しく知らない人でも OK。あの人がいいんじゃないという程度でも良く、入り口を広くし、とにかくリストに常時対象者があるような状況にしたい。

候補者のリストができたら、それは会員の皆さんに開示したいと考えている。そうすることによって、リストに挙がった候補者を勧誘するにあたっての参考にし、効果的な勧誘方法の検討に利用できればと思う。

また開示することによって、懸念事項である、申込書を提出してから異議発生という事態の予防につながることも期待される。

現在は入会申込書の提出後に異議の有無の確認という流れなので、異議が出てしまった場合に推薦者、非推薦者に対し不快な思いを抱かせるリスクがある。

要はリストを開示することにより、会員として正式に推薦する前に勧誘対象者から外す（リストから外す）ということもできるということ。

ただしリストの開示については少し慎重に検討する必要あり。

クラブ細則 11 条 1 項 この推薦は…事前に洩らしてはならない、という条文との兼ね合い。

この条文において「推薦の前段階であるから問題ないのでは」とも解釈できるが、条文の主旨も踏まえて判断する必要があると思われる。

・入会後のフォロー

入会していただいた会員に対して、例会へ出席・活動に参加してもらうためのフォロー

例会へ一緒に行こうの呼びかけ、出席時の声掛け ポツンの状況にしない。例会時の動き方の指導
メンター制度 新入会員のサポート担当 親睦委員との連携、等を検討
例会に足を運んでもらうための取り組みを行っていききたい。

・会員増強委員会の位置づけ

新規会員の勧誘 入会後のフォロー が主活動

(クラブ活動規則第 2 条 (a) に会員増強委員の役割が規定されているが)

個人的な希望を言えば、上記以外の責務はなるべく負わせないのが望ましい。

新規会員の勧誘だけでも相当な負担であり、個人からの推薦や委員会からの推薦に対して異議が出た場合など問題が生じた場合、会員増強委員会が入会・非入会の判断の責を負うものではない。

入会・非入会とする判断はあくまで理事会によって最終的に判断される (クラブ細則 11 条 5 項)

入会候補者の適格性を審査しろ、とかもムリ (そんなスキルはない)

たかだか一委員会に重たい判断や責任を負わせないでほしい

・まとめ

なにぶん委員会として動いていくことについては手探りの部分も多いため、定期的に会議を行い、試行錯誤しながら進めていくことになると思われる。

逐次会員の皆様の意見も参考にさせていただきながら取り組んでいきたいと考えているので、なにとぞご協力のほどよろしく申し上げます！